

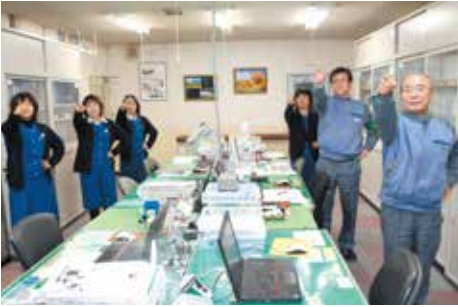
岐阜殖産(株)

神戸町・製造

平成29年度
認定

東レのグループ会社で、ポリエステルフィルムの製造や人工皮革製造の補助作業などを実施している。終業15分前から終礼を行い定時退社を促すことで所定外労働時間を月6.4時間まで抑えている。有給休暇の取得推進にも力を入れる。

従業員数／男性185名 女性40名 計225名 ※平成30年1月現在



終業15分前から行う終礼。指差し唱和をし、安全への意識を高めている。

一人一人に寄り添う職場づくり

育児、介護中の人や東レを定年退職し再就職した人、障がいのある人など多様な背景を持つ社員を支えようと、こまめに面談を行い制度の活用を提案している。岐阜殖産では、短時間勤務とは別に、1歳未満の子どもを育てながら働く従業員に「有給育児時間」という1時間の休みが取れる制度を設け

ている。子どもが3カ月の時に職場復帰したフィルム検査課の今城明理さんにも活用を提案。今城さんは昼休みとつなげて毎日2時間の休みを作り、会社近くの実家に預けていた娘に昼間に会いに行くことができた。「授乳もできたし、娘の成長を感じながら仕事ができてよかった」と振り返る。

有給休暇の取得促進にも力を入れる。それぞれが仕事の幅を広げることで他の社員のフォローを可能にし、休暇をカバーし合える環境づくりを進めた。管理者が毎月状況を把握して取得を促しているほか、祝日と土曜日の中の平日などを奨励日に設定し、多くの社員が休んでも業務に支障のないよう配慮するなどした結果、2011年度は90・5%だった有給取得率が16年度には98・2%にまで上昇した。



フィルム検査課で働く今城明理さん。子どもが3カ月の時に職場復帰。1歳になるまでは有給育児時間を活用し、昼間にも娘との時間を作ることができた。

メンタルの病気で長期間休職している人に対しては、本人との合意の上、主治医からの意見聴取や家族との面談を行い、現状の把握に努める。会社としてできる支援を伝える機会にもなっており、主治医や家族と二丸となって休職者を支える。田中和典社長は「これからも社員一人一人を大切に、誰もが働きやすい職場環境を作り上げていきたい」としている。